

あけましておめでとうございます

昨年を振り返ると、2年前の「新しい生活様式」が、昨年は、皆様の生活の「日常」となり、検温、消毒、マスク会食、県内小旅行、テレワーク、WEB会議などといった行動スタイルが当たり前となりました。ソーシャルディスタンスも習慣化する中で、小さなコミュニケーションが回復してきました。徐々に新しい日常も始まってきました。2年間で分かったのはコミュニティの大切さ、家族や仲間に出会えない辛さではなかったでしょうか。

今年は、マスクで話しましょう! 語り合しましょう! そして大きな声で笑いましょう!

オミクロン株という新しいウィルスが我々に迫ってきていますが、これまでの知見と皆様の予防対策で乗り切れると確信しています。

私も、昨年はコロナ禍での皆様からの声や、県政発展に向けていろいろな調査やヒアリングを行いました。その想いを議会で提言したことでUIターン者優遇支援、県立病院の人員体制、ヘルプマークの推進、新日野川橋建設への着手などの政策を進めることができました。これから「もっとイイ! 福井県を!」目指して努力したいと思います。

皆様にとって今年も良き年になりますよう心よりご祈念申し上げます。



昨年も地域行事が開催できない中、大花火で地区連携を深めたい想いで引き続き実行委員会で打ち上げを計画しました。3箇所同時打ち上げは福井で例がなく、120名の地域スタッフ、自治会連合会、河川工事関係者、警察、消防、そしてクラウドファンディングや協賛企業の皆様の協力のおかげで実現できた花火でした。



地域スタッフ最終確認



花火師さんの準備



スタッフ説明会



堤防より3箇所同時花火を観覧



ファクトリーツアーで縫製体験

是非、登録・ご活用ください。

のだ哲生
オフィシャルHP



公式LINE
(お知らせ用)



FB
(日頃の活動)



のだ哲生事務所

〒918-8031 福井市種池町 3-36

E-mail: tkannoda@gmail.com

URL: https://noda-tetsuo.com

問い 補正予算を編成するに当たり県内の経済情勢や経済団体等の声をどう反映したのか。

答(知事) 今回の補正予算案では、ふく割の追加発行や、国のGoToトラベルへの上乗せの補助、農業者に対する収入保険への加入支援、売上の減少が大きい事業者に状況に応じた給付金を新たに設けたい。



問い 最低賃金が所得に直結する非正規労働者の状況が厳しくなっている中、都道府県間で最低賃金に格差が生じている現状をどう認識しているのか。

答(知事) 本年6月に国に対し、段階的に地域間格差を是正する方向で見直しを行い、結果として全国一律の最低賃金になるよう提案した。引き続き求めていく。

問い 今後、使用済燃料の搬出先や広域避難計画の実効性など山積する課題を解決しない限り、40年を超えた原発の運転はあり得ないと考えるが所見を伺う。

答(知事) 今回のエネルギー基本計画案は、国は、使用済燃料対策について前面に立って主体的に取り組むとして国の責任をより明確にした。原子力防災も、政府全体が一体となって体制の構築・充実に努めていくとしている。本県は使用済燃料の中間貯蔵、円滑な廃炉、立地地域の振興と様々な課題が積み重なっている。1つ1つの課題を国として責任を持って解決していくことが必要で、着実に政策を実行することを求めていきたい。

問い 長引くコロナ禍でますます困窮生活を余儀なくされる非正規労働者に対し県独自の支援が必要と考えるが所見を伺う。

答(産業労働部長) 本県でのコロナの影響による解雇等見込み労働者数は9月3日現在、累計1027名で、その内545名の約5割強の方々が非正規労働者である。県では非正規労働者や離職を余儀なくされた求職者を支援するため、介護、福祉、運輸、建設など人手不足業種へ3か月以上勤務した場合に30万円を支給する就職奨励金制度を設けている。今回の9月補正予算では、職業訓練とトライアル就労をセットとして、その間の賃金を保証し、成長分野への正規就労への支援をする。

知事の政治姿勢

雇用

9月議会 代表質問 (抜粋)

福祉

土木

問い 難病の患者に寄り添うためにも、医療費支援だけでなく家庭の生活や子ども達の学業・進学への支援を充実すべきと考えるが所見を伺う。

答(健康福祉部長) 難病患者の方を含め、経済状況が厳しい世帯を支援するために、生活や修学等を対象とする生活福祉資金の貸付けがある。最大で240万円、教育支援資金としては月額6万5千円である。さらに、コロナの影響で収入が減少した世帯向けに最大で200万円の特別貸付がある。(住民税非課税世帯は返済免除) 子どもの修学等の支援として最大年額14万1700円の「福井県高校生等奨学給付金」の支給がある。こういう情報がしっかりと難病患者のご家庭の方々やお子さん方に行き届くよう「難病支援センター」の情報提供の体制を強化し広く情報提供をしたい。



問い 県内の大規模盛土造成地の安全性調査の状況と、福井県独自の条例を制定による盛土の規制・監視の強化について所見を伺う。

答(土木部長) イエローゾーンやレッドゾーンにある大規模盛土造成地71箇所について、市町と連携し目視による盛土や擁壁の変状、はらみ等の緊急点検を実施し、レッドゾーンは9月中、イエローゾーンは11月までに完了する予定。盛土の規制については、国で全国の盛土点検の結果を踏まえ、危険な盛土を防止する制度を検討することになっている。国の動向を確認しながら、関係部局が連携して条例化を含めた盛土の規制のあり方について検討を進めている。



パネルで課題を伝え、
実物で福井の繊維の可能性を
訴えました



福井の 地場産業である

提言!

繊維から

① 産業活性化へ

問い コロナで影響を受けている繊維企業に対し県内で共同連携してメイドイン福井の製品を開発する経費への支援策を設けるべき。

答弁(部長) 今年度政策トライアル予算で繊維企業5社と連携し県外デザイナーを招きオープンファクトリーツアーを実施した。ビームスやミズノなど一流メーカーが参加し、県内企業の技術力、対応力に高い評価をもらった。この成果を踏まえ来年度に向け、意欲的な企業グループが前向きに取り組むメイドイン福井のオリジナル商品の共同開発の支援を検討していく。

問い ふくい桜マラソン(北陸新幹線開業直後のフルマラソン)に向け、メイドイン福井の大会商品や販売商品の企画を進め、福井の産地活性化を図るべき。

答弁(部長) ふくい桜マラソンのような大規模イベントが県内で開催されることは本県地場産業にとって絶好のビジネスチャンス。この機会に、地元の工芸品を使った参加者への記念品や入賞者メダル等を製作しPRする。特に繊維王国福井が誇る優れた素材、技術力を生かしたメイドイン福井完結のマラソンウェアを開発するなど新たな事業展開への契機とすることが重要。県として新商品のサンプル作りや販売促進への支援を検討していく。

② ファッションのまち福井へ

問い 県内のファッションデザインの現状認識と、「デザインの力で魅力あるものづくりの産地」の実現に向けどんな施策を考えるか。

答弁(部長) 本県の繊維産業では、最終製品をデザイン、生産する企業が少ないため、デザインセンターふくいに登録されているファッションデザイナーも少ない。デザインセンターふくいで企業の個別ニーズに応じ、外部のファッションデザイナーや芸能人を紹介する取組を強化し、県内繊維企業におけるデザイン力の向上を図っていく。

問い ファッションデザイナーと福井産地の知識を持つ人材を育成するため、専門機関を設置し全国からファッション志望の人材を集めてはどうか。

答弁(部長) デザイナーを目指すファッション系専門学校生が県内の繊維企業を巡る産地研修を行い、7校、163人が参加。専門機関の設置は事業主体や経営の見直しなど検討すべき課題もある。今後、他県の好事例、繊維業界の意見も聞いて産地全体のデザイン力向上を考えていきたい。

③ ファッション観光へ

問い コロナ禍をきっかけに、行政や企業が連携して県民が地場産業の現状を知ることができる日帰りのファクトリーツアーのトライアル企画をしてみては?

答弁(部長) 旅行期間中にオーダーメイドの商品づくりが体験できるなど、他県にはない特別感のある観光商品を作成することが求められている。ただ、産業観光を常時受け入れるには、ツアー用の人員配置や見学者、体験用のスペース確保などの課題もある。受け入れを希望する企業に対して、県観光連盟で体験メニューやアクティビティの開発などツアーの企画や造成を応援をしていく。



縫製工場を視察



ファクトリーツアーでミシン縫いを体験

○福井県の製造業各業種の状況

産業分類	付加価値額(億円)	従業者数(人)	労働生産性(万円/人)
化学	1,151(16%)	3,539(5%)	3,251
電子・デバイス	1,049(14%)	10,153(14%)	1,034
繊維	988(13%)	15,567(21%)	635
電気機械	602(8%)	3,300(5%)	1,823
プラスチック	486(7%)	4,953(7%)	981
輸送機械	394(5%)	4,532(6%)	869
眼鏡	280(4%)	4,477(6%)	626
合計	7,348	72,942	1,007(34位)

H31 福井経済新戦略より抜粋
※繊維と眼鏡の労働生産性が低い!

2021年の活動

地域

Area

昨年は1月の大雪により生活が混乱しましたが、地域力で早く日常が戻りました。



除雪、道路、公園に関する地域の要望を福井市へ



意見交換

行政書士会と議員で書類のデジタル化などに関して意見を交わしました。



視察

Inspection

昨年はコロナ禍で県内視察を重点に行いました。



レインボーライン

レインボーラインは今後さらにリニューアルします。概要を視察しました。



寝転がれるソファから三方五湖を見下ろせます。



県立病院

県立病院屋上には毎日ドクターヘリが待機しています。高浜町まで約20分で到着。

活動

Activities



越前市役所

新しい越前市役所の委員会室で新幹線駅の越前たけふ駅周辺整備について説明を受けました。



越前市 福祉施設

福祉施設の原子力事故時の防災対応について意見交換しました。



大野市

トラクター型大型除雪機を視察しました。



アウトドア会議

福井のアウトドア アクティビティを考える皆様と森のテラスで意見交換



シルクスクリーンでポーチに印刷



コロナ禍でも公園の草刈り(新種池)